



静岡文化芸術大の特別公開講座で「新能 卒都婆小町」を披露する能楽師＝浜松市中区（浜松総局・二神亨）

最後の薪能講座 幽玄「卒都婆小町」

静岡文化芸術大

学生企画20回の節目 古典芸能の世界間近

静岡文化芸術大（浜松市中区）の学生有志が企画する特別公開講座「新能 卒都婆小町」（静岡新聞社・静岡放送後援）の第2部が6日、同大で開かれ、プロの能楽師が能の演目「卒都婆小町」を披露した。来場者は独特の声の抑揚や出演者の息づかいを間近に感じながら、古典芸能の世界観を楽しんだ。

卒都婆小町は、絶世（うたい）や囃子（はや）の美女だった老婦人の（し）の迫力が増し、来小野小町と僧侶の問答（たがひ）を物語に引き込んで、中心にした内容で、だ。

2001年に始まった新能公開講座は、20梅若猶彦教授が主役を務めた。小野小町に怨（うらみ）の節目を迎えた今年霊（たま）が取りつく見どころ（みどころ）を最後に終了する。では語り役の地謡（じ）（浜松総局・柿田史雄）